



教育と子どもの未来を創る

啓心

横山啓一 市議会だより

2022年 1月号

〒070-0824 旭川市錦町15丁目2979-6

TEL/FAX (0166) 55-5584

E-mail: yokoyama@k-yokoyama.net

寒中お見舞い申し上げます

2022年もよろしく
お願いいたします



新しい年を迎え、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年中は格別のご支援、ご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

さて、2年に及ぶ新型コロナウイルス感染拡大は衰えるどころか、相次ぐ変異株の出現に世界が翻弄されています。緊急事態宣言、市民生活や経済活動の制限を繰り返すものの、感染者の急増が旭川でも続きました。相変わらずの国の無策や医療・保健制度の不備が、自治体の感染対策やワクチン接種体制等を混乱させました。一方で、旭川市の独自対策や医療機関の協力によって、市中感染拡大や大規模クラスター発生を抑えることができたことも、私たちは記憶しておく必要があります。

学校現場は、長期の一斉休業こそなかったものの、緊急事態宣言による修学旅行等の日程変更、日常の感染対策の徹底など、教育課程にも大きく影響する日々が続きました。教職員の疲弊が子どもたちの学びや成長に与える影響も心配されるところです。

コロナ禍は、この国の抱えている様々な課題を浮き彫りにしましたが、それを解決するための政治の変革こそ必要であることも明確になりました。地方から変える、国や道を動かす、それぞれの課題を見据え、今後も全力で取り組んで参ります。引き続きご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

第4回定例会が終了

補正予算、条例改正など32議案を審議

2021年11月30日から11日間の会期で第4回定例会が開催され、8会計の補正予算案、市職員等の給与改定（期末手当減額）にともなう条例改正案など、32議案が提案、審議されました。

開会日には市職員等の給与改定に関する3つの条例改正案、子育て世帯臨時給付金に関わる補正予算案が先議、可決されました。12月6日から3日間は16人の議員による一般質問が行われました。

閉会日の12月10日には、新型コロナ第5次緊急追加対策を含む補正予算案等に対する質疑の後、残る28議案が可決されました。

3本の意見書も提案され、「入院治療の対象者の重点化及びそれ以外の患者は自宅療養を基本とする対応を可能とする政府方針の見直しを求める意見書」は賛成多数で、農業関係予算に関する意見書2本は全会一致で採択されました。

なお、新型コロナ第5次追加対策「その5」（右枠※）については、当初、5万円相当分のクーポンを発行する予定でしたが、市は現金支給を緊急施行すると12月16日に決定し、専決処分（後日の議会で承認を求める）を行いました。

新型コロナ第5次追加対策(その2)

①医療・保健対策 ▶PCR検査試薬等の購入、発熱外来体制確保（3/31まで延長）、障がい者施設の介護ロボット購入補助などに 2912万円 (ア)

②市民生活対策 ▶スクールカウンセラーの配置時間の追加、市民文化会館等の施設使用料減免（3/31まで延長）などに 73万6千円

③経済対策 ▶米価下落の水稻農家の次期作生産支援（種子購入代8割以内）、水稻育苗自動散水機の導入支援などに 8840万円

総額 1億1825万6千円

（うち地方創生臨時交付金 1億4365万6千円）

新型コロナ第5次追加対策(その3)

①経済対策 ▶子育て世帯臨時特別給付金の支給（5万円分）
総額 22億1945万3千円（全額国費）

新型コロナ第5次追加対策(その4)

①経済対策 ▶灯油購入費の助成（福祉灯油）
（生活保護世帯に5千円、市民税非課税世帯のうち高齢者、身障者がいる世帯、ひとり親家庭等医療費助成対象世帯に1万円を支給）

総額 2億9070万6千円（全額地方創生臨時交付金）

新型コロナ第5次追加対策(その5)（※専決処分）

①経済対策 ▶子育て世帯臨時特別給付金の支給
総額 22億1945万3千円（全額国費）

12/9発送の通知が届いた世帯には「その3」「その5」分をあわせ、児童1人当たり10万円を2021年末までに支給。その他の世帯については別途周知の予定。

2022年の重点として取り組みます！

ご意見、ご要望をお寄せください。

教職員の働き方改革の推進

2019年に策定された「旭川市立小中学校働き方改革推進プラン」の取り組み期間が3月末で終了します。相変わらずの超勤実態を解消するため、成果と課題を厳しく検証し、実効ある超勤縮減策をさらに求めています。

知里幸恵没後100年とアイヌ文化振興

節目の今年、近文地区のアイヌ文化拠点として、知里幸恵記念文学碑のある北門中学校の「知里幸恵資料室」の整備や一般開放の実現を図り、「記念館」開設の可能性も探ります。また、市制施行100年の節目にあわせて、「新旭川市史」編集事業の再開を求めます。



北門中の知里幸恵記念文学碑

安全な通学路など道路環境整備

右写真のように、バス路線で歩道も車道の路肩（白線と歩道の間）も狭い道路など、市内には危険な通学路があり、特に中学生の自転車通学が心配です。教育の視点をもって道路環境を点検し、改善・整備を進めるよう働きかけていきます。



錦町通線の自転車通学路

食料生産地域としての農村振興

国内有数の稲作地帯となった旭川市でも農業人口は減少し続け、不安定な米価、燃料費などの経費増加に加え、公共交通や水道など住環境の整備も十分ではありません。新規就農者への支援、農村地域での観光振興策なども探っていきます。

自然環境保護と産業・観光振興

ヒグマの出没、エゾシカによる農業被害などが相次ぐ一方で、鳥獣保護、環境保護との両立も問われています。旭川市の豊かな自然環境を守り、観光資源として生かしながら、産業振興や居住環境としての問題として考えていきます。

廃棄物最終処分場選定と住民合意

次期清掃工場整備計画の見直しによって、最終処分場選定の行方が注目されています。現在の江丹別吉野地区の処分場建設で生じた混乱を教訓に、特定の地域に負担が集中することなく、開かれた議論のもとで処分場が選定がされるよう求め、監視していきます。



江丹別で繁殖するベニマシコ

「いじめ」を生まない学校をどうつくるか

第4回定例会の一般質疑答弁の中で今津市長は、市長部局（危機管理部監察課）がいじめの初期段階から対応を行っている大阪府寝屋川市の制度も参考に、新たないじめ防止対策を2023年度から実施する旨を明らかにしました。

◇寝屋川市のいじめ防止対策に問題はないのか

▶いじめ問題に対する「教育的アプローチの限界」という仮説に立ち、初期段階から「行政的アプローチ」を導入し、「法的アプローチ」で補強するとしていますが、①「被害児童・生徒」「加害児童・生徒」という概念でとらえられない子どもたちの関係性に対する無理解、②「学校や教員ではいじめに対応できない」というアナウンス効果と信頼関係崩壊の恐れ、③不明確な市長部局と学校・教育委員会の関わり、④明日からも生活をともにする子どもたちの関係性の保障など、多くの懸念があります。

◇そもそも「いじめ」問題とはなにか ▶子どもを取り巻く様々な社会状況が問題を生み出しており、多様性を認めわかり合うという、解決のために必要な活動が十分でなく、そのゆとりもない現状を見る必要があります。そして学校は、子どもが様々な失敗を重ねながらそれを克服していくことを保障する場でなくてはなりません。

◇多様性を認めわかり合うためには ▶現在の学校というシステムを以下の視点で検証する必要があります。

- ①多数決ゲームや同調圧力を排除する学級・学校風土をつくる、
- ②学級・学校のことを自分たちの手でつくり変えていく活動の保障、
- ③指導・被指導の関係や同調圧力に頼らず、子どもの困難や悩みに寄り添える教職員の存在、
- ④労働時間削減、給特法廃止など教職員の処遇改善

◇社会問題が教育現場に反映される ▶いまだに多様性を認め合わない、差別・選別や競争原理が優先される大人社会を変える、そのための政治の課題でもあります。

▶コロナウイルス感染が完全終息することなく新年を迎えることになりました。すべてがコロナ前に戻ることはいかなる前提で、何を残し、何を残すのかという議論が必要になりましたが、私たちは切り替えられているのでしょうか。▶昨年は日米開戦80年、東日本大震災10年の節目。開戦決定をめぐる政治家や軍人の無責任な判断、動き出したら止められないこの国の在り方が、震災後の姿と重なって見えます。真珠湾攻撃の責任を問われて米陸海軍の現地司令官は解任されたのに対し、日本ではミッドウェー海戦敗北の責任を誰ひとり問われませんでした。▶特定の人物や団体が便宜を図られたり、公文書を改ざんしたり、年末には統計資料まで改ざんされていたことが明らかになっても、誰も責任を問われない。これで民主主義

国ですとは恥ずかしくてとても言えませんが、総選挙でも大きな批判や議論にならなかったのは残念です。一方で、改憲派といわれる議員が数多く当選し、改憲論議だけが盛り上がっていくことを危惧します。▶議員任期も残すところ1年半足らず。この間、市民の皆様から様々なご指摘やご意見、ご要望をいただき、市理事者などとも折衝することで多くを学ばせていただきました。直ちに解決はできなくても、問題を共有したり、解決の見通しを持つことは可能です。皆様の身近で感じている小さな疑問をぜひお聞かせください。▶ご挨拶も失礼することが多く、大変申し訳なく思っています。根雪の遅かった今冬ですが、除雪体制の状況も注目されています。寒さますます厳しい季節ですが、皆様どうぞご自愛ください。（啓）